

受領 令和7年11月27日 08時55分

通告番号(2)1/2

令和7年11月27日

読谷村議会  
議長 伊波 篤 殿

読谷村議會議員  
國吉雅和印

## 一般質問通告書

第548回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
1 読谷診療所について伺います。 行政は、指定管理者と適切に協議を重ね、村民の皆さんのが安心して医療を受けられる体制が確保されているかについて、どのように取り組んでいるか説明を求めます。	
2 令和7年3月25日決議第1号の「読谷型地域包括ケアシステムの拠点となる地域急性期(救急対応)機能を有する医療施設等」の実現から、9月定例会答弁は「地域包括医療病棟機能を持つ病院誘致」へ転換した理由と医療施設誘致の現状説明を求めます。	
3 令和7年度一般会計補正予算(第4号)10款教育費2項小学校費1目学校管理費の民間活力可能性調査委託料25,633千円について (1) 当初予算で計上している基本設計委託料を削減しても民間活力導入可能性調査を実施する理由と内容の説明を求めます。 (2) 小学校校舎等維持補修事業にPFI方式を導入した場合について伺います。 ア 募集要項に事業者の住所要件を付すことは可能か答弁を求めます。 イ 村内事業者は、次の資格要件を満たすことが可能か求めます。 設計業務を行う者の資格・建設業務を行う者の資格・工事管理業務を行う者の資格・維持管理業務を行う者の資格についてです。 ウ 国や県の補助金の内容について答弁を求めます。 エ PFI方式のメリットとデメリットの説明を求めます。	

## 通告番号（2）2/2

質問要旨	答弁を求める者
<p>(3) 古堅南小学校校舎等維持補修事業費総額を求めます。</p> <p>(4) 中城村の学校整備事業における、PFI方式導入の背景と内容の説明を求めます。</p> <p>(5) 県内41市町村でPFI方式導入による学校整備事業実施状況の答弁を求めます。</p> <p>(6) ゆんラボ・未来館について。</p> <p>ア 当該事業は性能発注方式を採用していますが、併せて仕様発注方式を用いた場合の事業費算定(それぞれの事業費総額)の結果についても答弁を求めます。</p> <p>イ 当該事業のVFM(Value for money)の算定結果について答弁を求めます。</p> <p>(7) 民間活力可能性調査委託について、委託先、調査報告書の名称、報告書提出期限を求めます。</p>	
<p>4 令和7年10月22日付け議員報酬及び議員定数に関する審議会の答申は、次の通りです。報酬は、議長383千円(39千円増)、副議長294千円(30千円増)、委員長287千円(35千円増)、議員270千円(27千円増)で定数は、17名(2名減)です。</p> <p>(1) 特別職報酬等審議会は、村民の視点を踏まえた調査・検討を行うことを目的として設置されています。つきましては、委員8名の所属先について伺います。</p> <p>(2) 南風原町議員報酬の263千円は県内で最も高く、議員の平均年齢は最も若く50歳です。南風原町における議員報酬増額及び議員定数(16名)の決定年度はいつですか、併せて、直近の町議選挙の候補者数についても答弁を求めます。</p> <p>(3) 審議会会議録の第2回、3回によると「報酬を増すのであれば、定数は減らすべき」という意見がほとんどです。つまり、議員報酬の増額となると、村民から厳しい意見が出ることが予想されることから、現行の報酬総額の範囲内で議員定数を削減し、議員報酬を上げる答申です。一方で、一部議員からは、執行部が報酬と定数を連動させているのではないかとの指摘があります。これらの点について、執行部の見解を求めます。</p>	
<p>5 村議会議員補欠選挙について</p> <p>村議会議員に欠員が生じた場合であっても、令和8年2月3日告示の村長選挙と同日に議員補欠選挙を実施しないと判断される要件・条件について、説明を求めます。</p>	